第３回

豊田市消防団警防技術交換会

■令和７年６月１５日（日）　■豊田スタジアム多目的広場

■主催：豊田市消防団

豊田市民の誓い

わたくしたちは、七州をのぞむ美しい山河にかこまれ、

輝かしい衣の里の歴史と伝統をうけつぎながら、

明日に向かって伸びゆく豊田市の市民です。

1　緑をはぐくみ、川を大切にして、豊かな自然を愛しましょう。

1　スポーツに親しみ、教養を高めて、文化の向上につとめましょう。

1　元気で働き、若い力をそだてて、幸せな家庭をつくりましょう。

1　互いに助けあい、心の輪をひろげて、あたたかい町をつくりましょう。

1　いのちを尊び、きまりを守って、住みよい社会をつくりましょう。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 消防団員が活動する地区の紹介 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

第１方面隊	崇化館、梅坪台、浄水、朝日丘、逢妻、豊南地区
第２方面隊	高橋、美里、益富、松平地区
第３方面隊	末野原、上郷、竜神、前林、若園、高岡地区
第４方面隊	猿投台、井郷、猿投、保見、石野地区
第５方面隊	藤岡、藤岡南地区
第６方面隊	小原地区
第７方面隊	足助地区
第８方面隊	下山地区
第９方面隊	旭地区
第 10 方面隊	稲武地区

消防操法大会　と　警防技術交換会　の違いは？

消防操法大会・・・・団体規律や消火の基本動作を習得します。

警防技術交換会・・・訓練想定を実戦に近づけ応用動作を習得します。
警防技術交換会は、豊田市消防団独自の取組みです。

要　　綱

目　　的　　豊田市消防団の小隊が、工夫を凝らした消火技術を警防技術交換会で披露し、消防団の火災現場対応能力及び警防活動に必要な技術の向上を図ることで、安全・確実・迅速な災害対応を行うことを目的とする。

日　　時　　令和７年６月１５日（日）　午前８時３０分～午後１時

場　　所　　豊田スタジアム多目的広場　（豊田市千石町地内）

次　　第

1　開会式　　8：30

（1）豊田市民の誓い
（2）開会のことば
（3）国旗に注目
（4）大会長あいさつ
（5）激励のことば
（6）来賓祝辞

<整備１０分>

2　披露開始　　9：00

① 第４方面隊 第３分団 第２部
② 第３方面隊 第２分団
③ 第 10 方面隊 第２分団
④ 第５方面隊 第３分団
⑤ 第４方面隊 第４分団 第１部
⑥ 第７方面隊 第１分団
⑦ 第８方面隊 第２分団
⑧ 第３方面隊 第１分団
⑨ 第２方面隊 第５分団
⑩ 第９方面隊
⑪ 第２方面隊 第２分団
⑫ 第６方面隊 第２分団
⑬ 第１方面隊 第３分団
⑭ 第１方面隊 第４分団

<休憩１０分>
ラッパ隊　吹奏

<審査集計１０分>

3　閉会式　　12：00

（1）成績発表及び講評
（2）表彰
（3）火の用心三唱
（4）閉会のことば

4　解散　　13：00

表　　彰　　優秀小隊（消防団長賞）

参考：今後の予定

予定	内容
令和　９年度	第４回豊田市消防団警防技術交換会
令和１１年度	第５回豊田市消防団警防技術交換会
令和１３年度	第６回豊田市消防団警防技術交換会

出場順１番：第 ４ 方面隊　第 ３ 分団　第 ２ 部（井郷地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	班長・宇野　司	隊員２	団員・菅沼　瑞希
機関員	団員・木田川　譲	隊員３	団員・宇井　喜則
隊員１	団員・安田　大晃	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

火点までのホース延長経路に障害物が予想される為、背負器によりホースを延長する。隊員は、資機材取り扱いの安全面に注視しつつ、簡易無線や口頭伝達により、迅速な消火を目指す。

出場順２番：第 ３ 方面隊　第 ２ 分団（上郷地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	部長・原　竜太	隊員２	団員・天野　孝一
機関員	部長・関谷　旭泰	隊員３	
隊員１	部長・赤城　裕太	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

背負器を用いたホース延長について、延長方法によりホースが張り、壁等に接触する懸念があることを、日ごろから実施している南消防署との連携訓練から習得した。ホース延長時は、コーナー部分に隊員を配置して、壁や障害物への接触を避けるように行う。

出場順３番：第 １０ 方面隊　第 ２ 分団（稲武地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	団員・林　勝士	隊員２	団員・遠藤　颯
機関員	団員・今泉　真樹	隊員３	団員・中　拓二
隊員１	団員・安藤　知史	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

ホース搬送や筒先操作は、機動力が求められるため、若手の団員を起用する。ベテラン団員からの臨機応変な活動指示と安全を最優先とした声かけを実施することにより、万が一のトラブル（絡み、遅れ）にも迅速に対応できるように実施する。

出場順４番：第 5 方面隊　第 3 分団（藤岡地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	班長・中垣　蒼	隊員２	団員・中垣　伸彦
機関員	団員・中垣　友宏	隊員３	
隊員１	団員・松澤　竜星	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

山間地を想定して中継地点を設置し、臨機応変に対応できるよう分岐金具を使用する。 窓ガラスが割れていなかった場合を想定し、バックドラフト対策として拡散放水をしながらとび口で窓を除去し、消火活動を実施する。

出場順５番：第 4 方面隊　第 4 分団　第 1 部（石野地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	団員・柴田　佑樹	隊員２	団員・藤井　俊輔
機関員	班長・金井　淳	隊員３	班長・辻川　寛樹
隊員１	団員・中島　崇也	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

一般建物火災想定のため、活動場所付近の障害物等に注意する。火点側（敷地内）、水利側の相互間の状況が分からないため、隊員間で合図や声を掛け合い、連携を取り迅速に消火する。

出場順６番：第 7 方面隊　第 1 分団（足助地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	団員・河合　健人	隊員２	団員・松井　大河
機関員	団員・奥村　史門	隊員３	団員・山田　祐司
隊員１	団員・岡本　卓也	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

障害物への接触による器具や家財の破損を避けるべく、行動開始の後の小隊長の判断次第では障害物の除去（移動）を試みる。また、障害物の除去の有無を問わず、ホース延長時には、ホース間に分岐を使用した二段階充水をおこなうことで、予期せぬホースの動きによる破損や負傷のリスクを抑える。

出場順７番：第 8 方面隊　第 2 分団（下山地区）

	階　級・氏　名		階　級・氏　名
小隊長	部長・柴田　泰吉	隊員２	班長・阪本　大輔
機関員	団員・簗瀬　康	隊員３	班長・吉村　俊祐
隊員１	班長・喜多　翼	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

「ポンプ車の操作」を大きなアピールポイントとし、火災現場の見通しが悪い状況を想定して、普段から使用しているデジタル無線を活用し、円滑な連携のもと消火活動を実施する。さらに、住宅地での活動は、狭く入り組んだ現場が想定されるため、背負器を使ったホースの延長を実施する。

出場順８番：第 3 方面隊　第 1 分団（末野原地区）

	階　級・氏　名		階　級・氏　名
小隊長	団員・佐藤　龍也	隊員２	団員・深津　諒介
機関員	団員・竹内　徳秀	隊員３	部長・近藤　邦博
隊員１	班長・成田　晃	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

ホース折れによる放水圧力不足にならない様に、背負器を有効活用した延長に加え、補助員によるホースラインの修正を行いながら活動する。

出場順９番：第 2 方面隊　第 5 分団（松平地区）

	階　級・氏　名		階　級・氏　名
小隊長	班長・岩月　雅人	隊員２	団員・鈴木　崇之
機関員	団員・城野　太紀	隊員３	団員・井手　隆浩
隊員１	団員・高木　直児	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

火点が目視できない状況のため、小隊長は火点の建物周辺の状況を確認する。無線機を使用し小隊長の的確な指示のもと、各隊員はそれぞれ協力、状況を判断しホース延長を実施、迅速かつ安全に消火活動を行う。機関員は迅速に分岐金具まで充水を行う。

出場順１０番：第 9 方面隊　（旭地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	班長・松井　寿也	隊員２	班長・藪下　隼人
機関員	団員・鈴木　誉	隊員３	部長・中垣　伸哉
隊員１	団員・松井　孝太	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

消防団先着の一般建物火災を想定し、転線可能な活動形態が必要と考え、2 線放水を実施する。

出場順１１番：第 2 方面隊　第 2 分団（高橋地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	団員・松澤　光洋	隊員２	団員・牧野　晃大
機関員	部長・鈴木　直行	隊員３	団員・青木　亮介
隊員１	団員・ドゥイアンディスサントス	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

小隊長は、団員に的確な指示を出すために現場を確認する。放水は、放水時の負担軽減の為に隊員２が補助に入り２人法で放水を行い、鎮火後は、延焼防止のため散水する。隊員３は、火点とポンプの間を行き来し、ホースの状況を確認し伝達補助を実施する。

出場順１２番：第 6 方面隊　第 2 分団（小原地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	団員・左右木　健太	隊員２	班長・岡田　歩夢
機関員	団員・山内　秀太	隊員３	
隊員１	班長・中垣　颯天	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

水利側から火点が目視できず、少人数の災害対応を想定する。小隊長から各隊員に無線機での指示のもと、安全を確保しつつ協力し消火活動を行い、隊員からも現場状況を明確に伝達する。

出場順１３番：第　1　方面隊　第　3　分団（逢妻地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	団員・斎藤　航平	隊員２	団員・畑田　直樹
機関員	団員・新美　達夫	隊員３	団員・杉浦　慎也
隊員１	班長・鈴木　直次	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

周囲にいち早く火災を知らせ、安全な避難を促すため、火災発生及び住民避難を呼びかける。

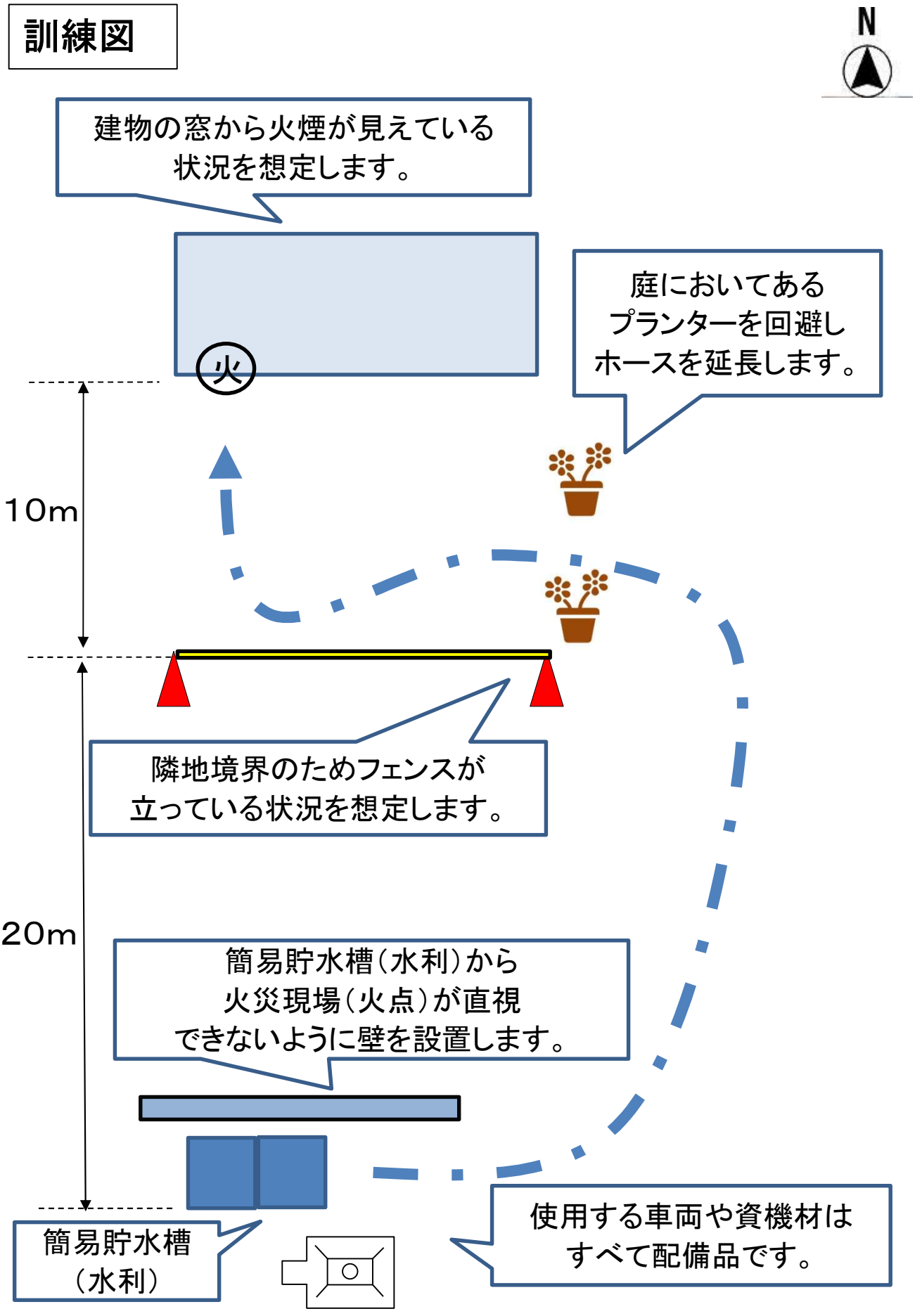
出場順１４番：第　1　方面隊　第　4　分団（豊南地区）

	階　級・氏　名	階　級・氏　名	
小隊長	団員・宇野　裕哉	隊員２	団員・藤村　蓮
機関員	団員・檜波田　剛吉	隊員３	
隊員１	団員・長崎　惺矢	※１小隊あたり５名以内	

活動のアピールポイント

災害点付近は、燃焼物や延焼物があるため、延焼が拡大しないように、筒先を上下左右に広い範囲へ拡散放水を行う。

訓練図


N
建物の窓から火煙が見えている
状況を想定します。
火
庭においてある
プランターを回避し
ホースを延長します。
10m
隣地境界のためフェンスが
立っている状況を想定します。
20m
簡易貯水槽（水利）から
火災現場（火点）が直視
できないように壁を設置します。
簡易貯水槽
（水利）
使用する車両や資機材は
すべて配備品です。

～豊田市消防団　防火衣・車両・資機材の紹介～

防火衣一式

　防火衣一式とは、防火帽（しころ付）、防火衣（上衣・ズボン）、防火長靴、防火手袋のことを指します。火災現場で火傷などから身を守るため着用します。
　身近なもので例えると、スキーウェアに近いですが、より暑く、より重く感じられます。

車両

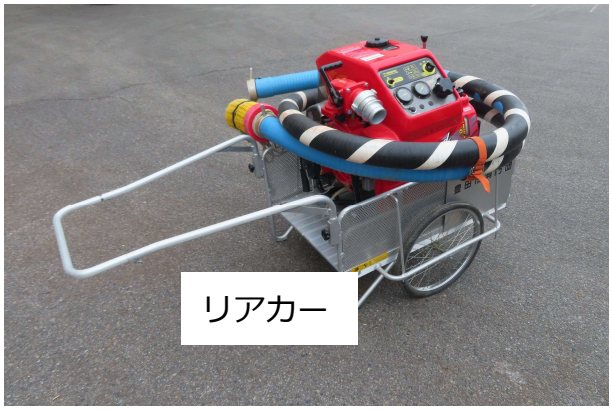
消防ポンプ自動車
【特徴】
　ポンプ及び各種資機材を装備した車両で、火災時は、消火栓、防火水槽などに水利部署し、消火活動を実施します。

小型動力ポンプ付積載車
【特徴】
　小型動力ポンプを積載した消防車両です。災害現場では、水利部署困難な河川等に小型動力ポンプを搬送し水源確保に努めます。

救助用資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車
【特徴】
　小型動力ポンプと救助活動をサポートするチェンソー、AED、担架などの救助資機材が搭載されています。

資機材

小型動力ポンプは、２～４人で持ち運び、車両では進入できない河川や水路に設置します。小型動力ポンプと吸管をつなぎ、消火に必要な水を吸水します。



リアカーに載せて搬送することもできます。

小型動力ポンプから、消防用ホース（口径６５mm、長さ２０m）を数本つなぎ、管そうから水が出るように延長します。

身近なもので例えると、ホースリールとノズルヘッドをイメージしてください。

ホース延長には、背負器（ホース３本をセットできる）も使用することがあります。

分岐金具は、ホースの圧抜きや別方向のホース延長などに使用します。

情報伝達の手段として、無線機を使用します。

特定小電力トランシーバーは、小隊（２～５人程度）内で近距離の交信に使います。

デジタル簡易無線機は、近距離の交信もできますが、中距離の交信が可能なため、小隊と小隊の情報伝達で使用します。

～　消防団活動の紹介　～

警防技術訓練

小型ポンプ操法訓練

河川揚水訓練

ボート訓練

水防訓練

運転訓練

救助訓練

救急訓練

防災啓発（ファイヤーガード隊）

防災啓発（カラーガード隊）

士気高揚（ラッパ隊）

防火啓発（階梯隊）

平成28年10月事業開始

がんばれ！
消防団！

豊田市消防団 応援の店募集

地域の安全・安心を守る消防団を応援しよう！

応援の店とは？

地域のために頑張っている消防団員を支援するため、事業所に「消防団応援の店」として登録していただき、特典やサービスなどの協力を通じて、消防団を応援していただくものです。

協力によるメリット

1 利用者の増加
対象者は消防団員やその家族などです。消防団員の利用促進により顧客の集客率アップが期待できます。

2 イメージアップ
消防団を応援する店舗として地域社会に貢献する事業所であるというイメージアップに繋がります。

3 お店をご紹介
お申込み内容により、全国・愛知県・豊田市のホームページなどで応援の店をご紹介します。

お問い合わせ
お申し込み

豊田市役所防災対策課　消防団担当
〒471-8501　豊田市西町 3-60　豊田市役所南庁舎４階
TEL（0565）34-6750　　FAX（0565）34-6048
メール　bousai@city.toyota.aichi.jp

豊田市消防団応援の店　検索

WE LOVE 消防団
消防団員募集中!!

「消防団応援の店」にご登録いただいた事業所はこちらからご覧いただけます。

詳細はコチラ

豊田市消防団応援の店一覧　検索

豊田市消防団協力事業所表示制度

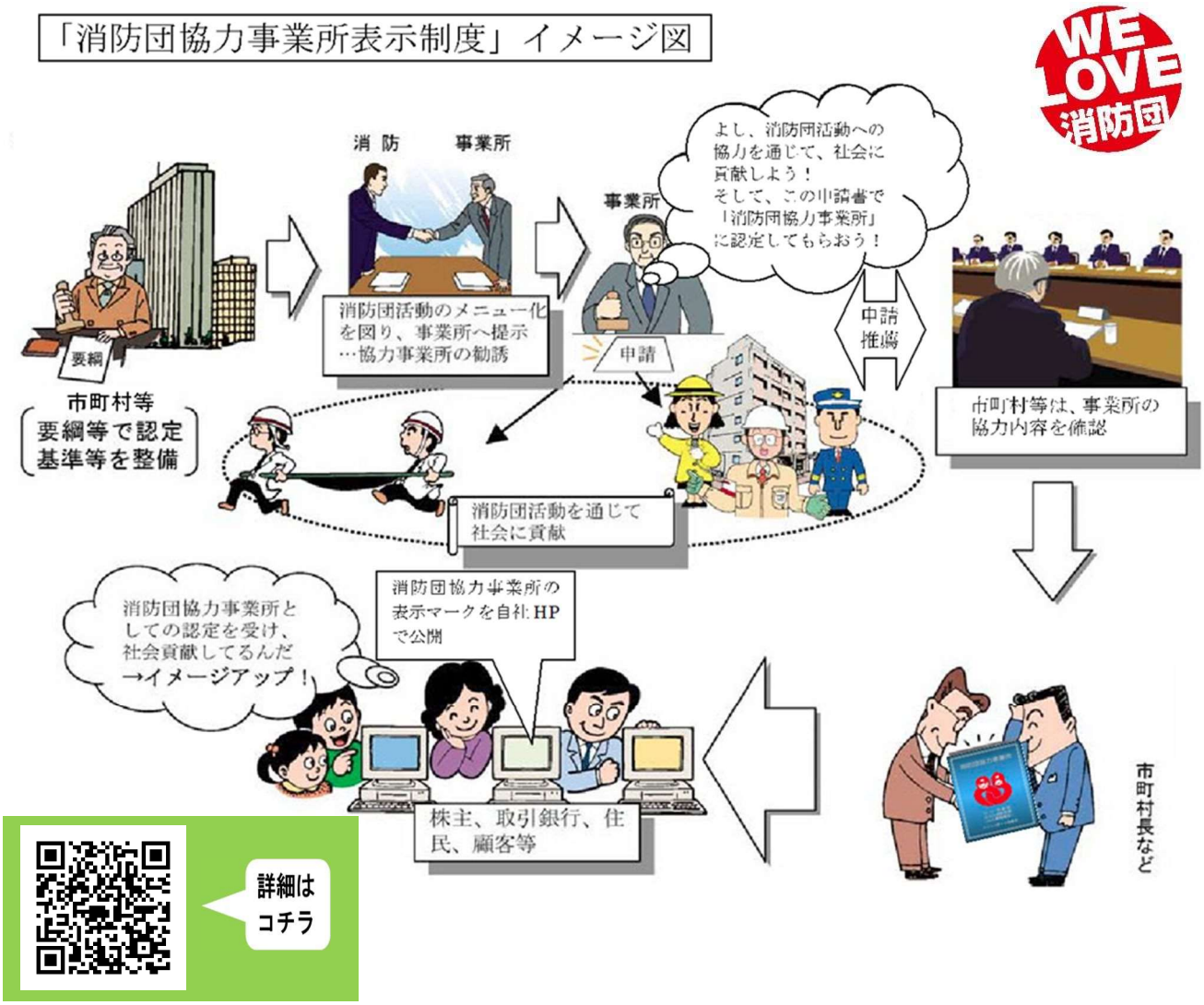
この制度は、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められるとともに、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的としています。

【認定基準】（以下のいずれかに該当する場合）

- 従業員が消防団員として、相当数入団していること。
- 従業員の消防団活動について積極的に配慮していること。
- 災害時等に事業所の資機材及び自衛消防隊を消防団に提供するなど協力をしていること。
- その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与しているなど、市長が特に優良と認める事業所であること。

【事業所のメリット】

- **協力事業所の表示マークを提示で社会貢献をＰＲ**
- **市の入札（総合評価落札方式）における加点**
- **消火器の貸与**



消防団員募集

Women's Softball Team TOYOTA Red Terriers × TOYOTA CITY FIRE CORPS fire brigade in town

豊田市役所防災対策課　TEL：0565-34-6750
〒471-8501　豊田市西町3-60　豊田市役所南庁舎4階
mail：bousai@city.toyota.aichi.jp

↑詳しくはこちら
（豊田市ホームページ）

WE LOVE とよた